

市政を質す！

一般質問

11月定例会では、10議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧いただけます。



部活動の地域移行

Q 方針と展望について伺う。

A 運動部・文化部の競技・種目数は20年前のおよそ半数になっている中、生徒のニーズに因應するため、他市町に先行して休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行している。また、運営者からの要望への対応を検討しているが、各クラブが自立し独立運営する形を考えている。

熱中症対策

Q 猛暑への対策の検討は進められているか伺う。

A 猛暑は災害と捉え、国が新たに創設する制度の活用等の他に、一定の条件に該当する高齢者・障害者へのエアコン設置費用の助成や学校体育館（まずは学区に1校ずつ配置されている中学校）への空調設備設置へ着手していく。

交通ネットワーク

Q 大井川地区の公共交通再編について伺う。

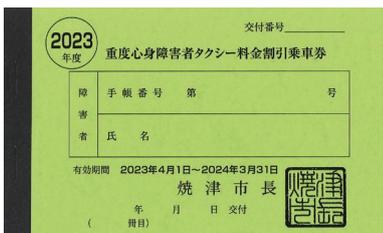


井出哲哉
(凌雲の会)

A 自主運行バスやデマンド型乗合タクシーの利便性の向上や利用者拡大を図っており、公共交通の月平均利用者は再編前の令和3年度から大幅増となった。

Q 障害者タクシー料金割引乗車券の用途を拡充できないか伺う。

A 障害のある方の社会参加の促進を図るため、令和6年度から拡充していきたいと考えている。



焼津市の重度心身障害者
タクシー料金割引乗車券

DXの推進における 市民意見の収集等

Q DX推進に関する市民の声を聴く機会はあるか。

A パブリックコメントを実施して市民の皆様のご意見を伺い、計画に反映をさせたところである。また、スマートシテイYAIZUの取り組みでは、現在実施中の推進方針策定において、市民の皆様を対象としたウェブアンケートを実施し、約2千件の回答をいただいたほか、市民ワークショップの開催やデジタルツールを活用したアイデア募集などにより多くの皆様から貴重なご意見をいただいている。

Q 公共施設予約システムの電子決済は具体的にどのような種別を検討しているのか。

A PayPayとLINEPayを予定している。

Q スマートフォンを利用するデジタルサービスの考えは。

A デジタルLifeサポート事業では、スマートフォンでマイナンバーカードを読み取って本人確認をする必要があるため、市



はら さまひろ かつ
原崎洋一
(凌雲の会)



民の皆様から申込み方法や対応機種に関する問合せをいただいている。その対応をするため事業の期間中は、本庁舎1階海街ホールや大井川庁舎1階に支援窓口を開設したほか、全公民館にも巡回窓口を設け、申込み方法が分からない方等に対し丁寧にサポートを行ったところである。

Q 今回のアプリ以外に構想は。
A 今後、マイナンバーを絡めて、個人を特定した電子申請、個人を特定して電子通知を送ることに取り組んでいきたい。



公共施設予約システムのPC画面

港町やいづ企業応援調査団 の活動

Q 港町やいづ企業応援調査団による調査とは。

A 本年度は製造業・卸売業など500社を2名1チームで訪問。用意した記録カードで調査する。

Q 記録カードの調査項目は。

A 業界の動向や業績、経営課題や設備投資計画、行政への要望等。

Q 調査を実施された職員の声は。

A 企業が抱える課題や行政への要望等を直接聞き有意義だった。

Q 調査で分かった代表的な課題は。

A 移転や拡張のための用地確保と人手不足の解消である。

Q 令和6年度への施策反映は。

A あらゆる制度を活用した産業用地の確保と、人材確保については、企業による働きやすい環境整備等の取り組みを支援する。

Q 調査結果を市民や議会に共有できないか。

A 本年度調査が終了後、どのように公表するかを検討していく。

焼津PORTERS



ふじおか まさや
藤岡雅哉
(無会派)



Q 令和3年度からの整備費用は。

A 令和3年度は1億500万円、

令和4年度は1億600万円、

令和5年度は3千万円である。

Q 具体的な整備箇所の用途は。

A サテライトオフィスやフードコート、ミーティングルームやホテル、店舗など。

Q 市の日常的かわりは。

A 運営にかかわる相談対応やイベント等の調整を支援している。

Q 焼津PORTERSの課題は。

A 早期完成と平日利用が増える事。

Q 焼津市はもっと積極的な参加を。これまでも積極的にかかわっており、その姿勢に変わりはない。



焼津内港地区の中核を担う
焼津PORTERS

リニア中央新幹線静岡工区に関する焼津市の対応はどうか



あかしまひろこ
秋山博子
(無党派)



Q J R東海が提案している田代ダム取水抑制案で流域の水問題が解決したかのように受け止められているが市の見解は。

A 工事期間中のトンネル湧水と同量を大井川に戻す方策として有効な手段であり、大井川利水協議会として了解している。

Q 田代ダム案で取水抑制ができない状態が長く続いた時や突発湧水が起きた時の対応についてなど、水に関してはまだまだ対話が必要ではないか。

A 大井川利水協議会から県の対策本部を通じてJ R東海に分かりやすい説明をするようお願いしている。

Q 地質学者の松島信幸さんによると南アルプスの岩石はまだ固まっておらず、未固結の破砕帯が何本もありひびが集中している。巨大な山体は岩石と高圧の地下水に支えられており、地下水に穴をあければ山の水は永久に流出してやまないとのことである。農業者からは車を洗う



南アルプスの崖に見られるもろい地層 (2023年秋)

水ではなく米を作る水が欲しいのだから水質調査を今から実施してほしいとの声もある。市民の声を大井川利水関係協議会のテーブルに乗せられないか。自然のことなので対応はしっかりとっていくように伝え訴えていきたいと考えている。

Q 市長と市民が意見交換する機会があってもいいのではないか。

A 市民の心配事は捉えている。我々の使う水が枯渇することがなく確保できるよう、意見はしっかりと述べていきたい。

文化振興計画、現状の進捗状況は

Q 文化会館利用者数の増加は目標どおりか。また、利用者増のためには何か工夫をしている施策は。

A 利用者数については、コロナ禍での影響があったが、順調に回復している傾向にある。今後、SNS等を利用した情報発信や、様々な団体と協働した事業展開を図ることで、利用者数の増加につなげていく。

Q 若い世代の育成、支援及び文化活動のリーダーとなる人材の育成への取り組みは。

A 小・中学生、高校生などに歴史伝統的なものの解説や講習会を開催して知識を有してもらうなど、子どもたちに興味、関心を



おかだみつまさ
岡田光正
(無党派)



持っていただくような取り組みを実施している。

焼津市立総合病院の医師確保

Q 具体的な措置を伺う。

A 医師の派遣元である東京大学や浜松医科大学との連携を強化するとともに、県から自治医科大学卒業医師の派遣を受け、義務年限が終了した医師を採用している。また、医師求人サービス等を活用した取り組みを行い、これまで常勤医師が不在だった診療科に常勤医師を採用している。

Q 地域の医療ニーズへの対応戦略やビジョンについて、どのように応えていくか。

A 地域医療連携のさらなる推進を図るため地域の医療機関や介護施設などへの訪問活動を強化し常に医療ニーズの把握に努めるとともに、医療と介護の連携を深めていく。



小川地区 正月の獅子舞

ひとり親家庭等の子育てや暮らしを応援するために

Q 1人で子どもを育て生活をしていく中では仕事や子育て、家計のこと等様々な困りごとに直面し、内閣府の貧困調査でも現在の暮らしが苦しい、大変苦しいひとり親世帯は51・8%に上る。児童扶養手当を毎月支給へ。

A 児童扶養手当法に年6回の支払い月が定められている。

Q 本市は秋から重層的事業の困りごとマルっとサポート事業を実施。そこで受けとめ静岡市と浜松市のように養育支援・生活援助につなげることは。

A 必要であれば紹介をして支援をしていきたい。

Q 子ども食堂に補助を。藤枝市は各団体が年間計画を作成し担当課が交流センターを年間予約しており、令和4年度は全体で69万円を補助し、居場所型が4か所、宅食型が2か所ある。

A 地域でしっかり形をつくっていくのが行政の役割と考え藤枝市も参考にしてやっていきたい。



ふくだ ゆきこ
深田ゆり子
(日本共産党市議会議員団)



部活動の地域クラブ化の課題

Q 取り組みは文科省モデル事業か。

A 先行して委託の形で進めている。

Q 部活動は、学校教育の一環として教育課程と関連が図られるよう学習指導要領で位置づけられるが、休日の団体競技に影響は。

A 休日は地域クラブになるが、専門的な指導等により、自身の技術向上に繋がるメリットもある。

青峯プールの全面的改修を

Q 修繕する予算はどのぐらいか。

A 必要な修繕費は約1千万円。

Q 来年度一気にやれるのでは。

A 実施すべく準備を進めている。



焼津市立青峯プール
(2023年11月28日現在、
撮影・作成：深田)

通学路の安心安全を最優先に道路の環境を大切に

Q 通学路の安全は行政・学校・地域の連携こそ第一歩であり、本市でも浜松の児童を巻き込む事故を受け緊急点検を行った。点検の結果と市の対応は。

A 歩行帯の区画線劣化8路線、舗装の損傷9カ所。工事は完了。

Q 市HPに掲載中の合同点検箇所一覧表に通学路の状況と危険個所の記載がある。その対策の優先順位はどのように決めるのか。

A ハード、ソフト両面での安全対策を総合的に検討協議し決める。

Q この一覧表に大井川東小通学路で令和3年度、4年度に児童が水路に転落、「柵をつけてほしい」とあるが、確認しているか。

A 報告は受けている。

Q 令和2年度に転落事故があり数十メートルの柵が設置されたことは認識しているか。

A 転落防止柵の上流での転落事故があったことは聞いている。

Q 通学路等対策推進会議には保護者、自治会等、見守り隊は入っ



すぎた げんたろう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



ていないが、意見等の反映は。意見は教育委員会を通して道路管理者や同会議に報告している。



大井川東小の通学路の児童と見守り隊、R2年度追加の安全柵

Q 道路・歩道の街路樹、低木、雑草の管理は必要であり、異常気象で道路の雑草の伸び方も異常だ。管理の優先順位は。

A 優先順位はないが生育状況を確認しながら行っている。

Q 市民の落ち葉の清掃に感謝を。

A 美化活動に感謝の気持ちを伝えていくことを検討していく。

市民が憩い、または遊び楽しめる公園管理を

Q 異常な草木の伸び等を確認したとき管理者はすぐ対応するのか。現場を確認して対応している。

モンゴルとの国際交流を通じて焼津市が目指す将来像

Q モンゴル国とのスポーツ交流の基本的な考え方は。

A 幅広い世代の皆様が様々なスポーツを通して交流ができるよう進めていく。

Q 本市がウランバートル市チンゲルテイ区との友好関係を結んだ経緯と今後の展開は。

A 2017年にモンゴル国と東京2020オリパラ競技大会事前キャンプの覚書を締結する際に自治体間交流のご紹介を受け、それ以降、スポーツを中心に交流を続け、昨年の8月には、改めて幅広い分野での包括的な友好交流の覚書を締結し現在進めている。

Q スポーツ交流を通じた高校生同士との交流についてこれまでの実績と今後の予定は。

A 2018年以降、男子のバスケット及び女子のソフトテニスの2競技を実施し、今年8月に男子バスケの選手団をチンゲルテイ区に派遣し、11月には女子ソフト



いしはらたかゆき
石原孝之
(無党派)



テニスの選手団を受け入れ、地元高校生を中心に合同練習や親善試合等を実施した。今後はホームステイなど、互いの高校生が幅広く、よりよい交流ができるよう努めていきたい。

Q 第4回モンゴル祭り、やいづナーダムのイベント経費は。

A 事業費は昨年度ベースで約310万円。

Q 今後の経済分野での連携、その可能性は。

A 経済産業分野における人材交流の可能性を探っていく。



12月9日に来焼したチンゲルテイ区の中学生女子バレーボールチームの皆さん

「認知症基本法」が成立 施策推進計画策定へ

Q 本年6月に「認知症基本法」が成立。地方自治体に対する取り組みへの本市の対応を伺う。

A 令和6年度から3年間の第10期ほほえみプラン21を策定しているところであり、認知症基本法に規定されている基本理念や地方公共団体の責務等を踏まえて、認知症対策を重点的に取り組むものと検討している。

Q 認知症基本法を市民に知らせていくために、条例制定が必要と思うが、市の見解は。

A 認知症基本法では、市町村は認知症施策推進計画の策定に努めることとなっており、法の主旨を踏まえた同計画を策定し広く周知して、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めていく。

Q 認知症チェックサイトの開設ができるのか。

A 気軽にセルフチェックできる認知症チェックシートを策定し、ホームページ掲載を検討する。



かわしま かなむら
川島 要
(公明党議員団)



焼津地区保護司会と連携強化を

Q 市と保護司会との連携状況は。

A 健康福祉部地域福祉課内に事務局を置き、様々なサポートをしている。また、毎月の定例会に担当職員が出席し連携を図っている。

Q 更生保護サポートセンターの確保、設置への市の責務は。

A 保護司会が更生保護活動を行う拠点であり、重要な場所と認識している。現在、本庁舎近くへの移転が進められている。新たな更生保護サポートセンターの設置に伴う費用などをしっかりと支援していく。



水害に強いまちづくり

Q 本市は各家庭でできる各戸貯留について、雨水流抑制対策の1つとして重要な役割を持つとの認識だが、各家庭での貯留を促進させるための制度の必要性を伺う。

A 新年度から開始できるように、各戸貯留の補助金交付制度の創設を現在検討している。

廃棄物を減らすまち

Q 生ごみを減らすためのキエーロ、新生ごみ処理容器モニター事業の実績と市民の感想は。

A キエーロは令和3年度59基、令和4年度119基、新生ごみ処理容器が令和3年度211基、令和4年度193基である。市民からごみ減量が実感できた、処理が簡単など前向きな感想をいただいている。

Q 令和3年度と令和4年度の比較で、リユース古着の回収が40トン、30・3%減少してしまっているが、対策はあるか。



しのみやしんいち
四之宮慎一
(凌雲の会)



A 新たなリユース古着回収ボックスの設置につき、回収場所、回収時間など、防犯・防火上の安全性を調査してきた。それらをクリアする本庁舎の1階に今年度中に設置できるように進める。

生活習慣病予防

Q 大井川庁舎の健康見える化コーナーの利用状況を伺う。

A 令和4年12月の開設から令和5年11月末までの利用人数は1645人となっている。市民の関心が高く、当初の利用は月100人としていたが、それを上回る利用状況となっている。



大井川庁舎 健康見える化コーナー

市議会インターネット中継をご覧ください！

焼津市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継と、録画映像を配信しています。

傍聴に来ることができない場合でも、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等で本会議の映像をご覧いただくことが出来ます。

なお、録画映像の配信は閉場ごとおおむね7日（土日祝日を除く）以降からご覧になれます。

焼津市議会映像配信



Facebookで情報発信中！

多くの市民の皆様に関心を持っていただくため、焼津市議会の公式 Facebook ページ「やいづ市議会」を開設しています。

議会定例会や議会の公式活動に関する情報などを中心に情報発信をしていますので、ぜひページへの「いいね！」をお願いいたします。

焼津市議会の公式 Facebook ページは
右記2次元コードから

